



平成 28 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F F R I  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鵜 飼 裕 司  
(コード番号：3692 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 最 高 財 務 責 任 者 田 中 重 樹  
( TEL. 03-6277-1518 )

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

#### 記

#### ● 業績予想の修正について

平成 28 年 3 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 ( 平 成 27 年 4 月 1 日 ~ 平 成 28 年 3 月 31 日 )

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,815	263	263	176	23.25
今回修正予想(B)	910	△438	△438	△320	△41.39
増減額(B-A)	△904	△702	△701	△496	
増減率(%)	△49.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月 期)	876	256	241	171	23.87

#### 修正の理由

売上高につきまして、法人向けにおいては、大規模案件の割合の増加によりユーザーにおけるセキュリティ製品の検討及び検証に係る期間が当社の想定よりも伸びており、失注する案件は少ないものの最終的に当社製品の導入が決まったとしても、導入時期が後ろにずれることとなり、この影響により当期の売上計上額が見込みを5千万円程度下回る見通しとなりました。また、複数の大手企業との間にかねてより進めてきたアライアンス施策について、当期売上高で1億円を見込んでいたものが凍結となり、現状は再開の目途がないことから計画を下回る見通しとなりました。

次に、個人向けにおいては、個人向け新製品の販売に関する案件を提携関係のある大手企業と進めており、これに当期売上高で7億5千万円を見込んでおりましたが、今期中での実施について交渉が価格及び先方における販売戦略の都合等により不調に終わり、計画を下回る見通しとなりまし

た。本件につきましては当該大手企業と引き続き交渉を続ける予定です。なお、費用につきましては、人件費の増加及び広告宣伝費の増加を見込んでおりましたが、当初計画に対して少ない支出となる見込みです。

利益につきましては上記のとおり売上高が減少することに伴い、計画を下回る見通しです。

今後につきましては、当社製品の他製品との違いなどをユーザーに分かりやすく訴求する他、月額版やマネージドサービスなどの提供によりユーザーにおける導入負荷を緩和するなど取組みを行っております。また、北米を中心として海外展開に向けた取組みを行っており、早期の販売拡大を計画してまいります。個人向けにつきましては、先述の製品販売に関する案件について次期に実現させるべく取り組んでまいります。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以上